

2012年6月7日

## ノーリツ、メガソーラー建設へ展望 自社事業所に発電施設を今夏着工

～産業用太陽光発電の本格的な取り扱いに向け機能強化～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東/大証一部上場)は、当社加古川工場の建物屋上と敷地内に合計400kWの太陽光発電施設※1を建設します。

同時に、当社は産業用太陽光発電の本格的な取り扱いに必要な機能の強化も図ります。

発電施設運営のノウハウ取得と同分野の機能強化を図ることで、2013年は設置容量10MW、売上高30億円を目指します。

電力供給が不安定な中で、自社施設に太陽光発電システム導入や、遊休地を活用してメガソーラーの建設を計画する企業・自治体が相次いでいることから、本取り組みを決定しました。当社は2011年より進めている中期経営計画Vプランにおける「新エネルギー分野の拡大」を加速する狙いで、太陽光発電施設の拡大についても今後、検討してまいります。

昨今の環境意識の高まりや、7月開始の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」、グリーン投資減税などにより、産業用太陽光発電の市場はさらなる拡大が期待されます。当社は、同分野を本格的に取り扱うために必要な「特定建設業許可」を既に取得し、現在は「システムインテグレーター機能の強化」を進めています。また、昨年より産業用太陽光発電用に当社製太陽光モジュールを納入するなど、同分野を意識した商品開発も進めています。

当社は、2010年に先行して一般住宅用太陽光発電システム事業に参入しました。太陽光発電モジュールの組み立て、施工、アフターサービスといった当社保有の強みが活かせることから産業用太陽光発電への横展開を決定いたしました。



太陽光発電施設を設置する加古川工場

※1 ≪ 自社発電施設概要 (仮称) ノーリツ加古川太陽光発電プラント ≫

- (1)所在地 : 兵庫県加古川市八幡町宗佐 576-1
- (2)出力規模 : 400kW(敷地内建物屋上 330kW、敷地内 70kW)
- (3)年間予想発電量: 45 万 kWh
- (4)工期 : 着工 2012年8月、竣工 2012年12月、2013年稼働予定
- (5)投資金額 : 総額見込 約 1.3 億円